

令和5年6月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和5年6月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和5年6月30日（金） 9時30分～11時05分
川西庁舎 4階 第1研修室

2 出席

渡辺正範教育長、浅田公子委員、廣田公男委員、渡邊奈々子委員、川崎正男委員

3 説明のため出席した者

教育文化部長（鈴木政広）、教育総務課長（玉村浩之）、学校教育課長（細木久成）、指導管理主事（藤田剛）、生涯学習課長（樋口具範）、文化財課長（菅沼巨）、スポーツ振興課長（庭野日出貴）

4 会議の内容

（1）定例会会議録の承認

3月臨時会 署名委員：庭野委員、浅田委員
3月定例会 署名委員：浅田委員、廣田委員
4月定例会 署名委員：廣田委員、渡邊委員

（2）会議録署名委員の指名

署名委員：川崎委員、浅田委員

（3）報告事項

① 共催・後援等報告

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

各担当課長

- ・資料に基づき説明

② 報告第1号 市立中学校のあり方検討委員会について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

玉村教育総務課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・振り返りの中で、八海中学校が統合するときの資料で、南魚沼市では2065年までの将来人口推計の資料が示されたんだけど、十日町市は何で今の検討委員会のようにそのような資料を出してくれないのかという意見があった。なぜこんなことを言うかといったら、前回の適正化方針の際は各地で反対運動みたいなものがあったが、その主な理由としては、頭のどこかには将来的にはやっぱり統合しなくてはと思っているが、ただ、今はまだちょっと早い、まだ今のところはこのままでいける

んじゃないかというような意見が多かったと思っている。やっぱり将来はこうなるというものを示さないとその議論がなかなか煮詰まっていけない。感情的な議論だけで終わってしまう可能性もある。このような人口推計資料を出すことは重要なことではないか。

玉村教育総務課長

- 南魚沼市の人口ビジョンは、市が独自に推計をしたもので、それを基に検討委員会等にお示しをして、やはり統合の根拠になったという説明があった。十日町市も人口ビジョンあるが、推計なのでどこまで正確性があるかというとはなかなか難しいところもある。ただ、やはり減ってきている現実はもう間違いないので、この後取りまとめに入っていくが、確実に減るというデータとしてお示しすることもあると考えている。

川崎委員

- 八海中学校が3つの中学校を統合してできた学校ということだが、五十沢、大巻、城内とそれぞれの地域の方とつながった学校経営をされていて、それぞれの地域の特色と地域性も大切にしながら統合したと思うが、その辺の現状はどうであったか。

玉村教育総務課長

- 実際にスタートして5年経過し、新しい学校をつくり上げている状況で、実際に地域の文化の伝承などはどうやっていくか今模索しているような感じを受けた。ただ、統合については地域の同意を得て統合をしているので、今は1つの学校として新しい学校をつくっていかうと、今いろんなものをつくり上げている状況かなという印象は受けた。

渡邊委員

- 私も意見を読ませてもらい、共感したものがあつた。保護者が子供を学ばせるために生活拠点を移したいと感じる学校ができないものかというのが、雪里留学もそうだが、移住してまでこの子をその学校に通わせたいと思う魅力ある学校づくりが公教育でできるのなら、それが一番理想的だなと思った。
それと、もう一つ、大人の議論だけではなく、中学生自身がどうありたいのか、どのような生活を送りたいかということの把握も望ましいという意見もあり、私もそうだなと思う。特に部活動の休日移行が行われている中で、子供たちの声を聞くと他校との交流を楽しんでいる子もいれば、非常にやりにくくなったというような意見もあり、そのような意見も事前に聞いておいてもいいと私は感じた。

(以上の質疑のあと了承した)

③ 報告第2号 十日町市学校給食検討委員会委員の委嘱について

渡辺教育長

- 事務局の説明を求めた。

細木学校教育課長

- 資料に基づき説明

渡邊委員

- ・会議等は年2回あるということか。

細木学校教育課長

- ・会議の開催は年に1、2回である。大体秋に1回は開催する。

(以上の質疑のあと了承した)

④ 報告第3号 十日町市公民館分館運営委員の委嘱について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

樋口生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑なく了承した)

⑤ 報告第4号 令和5年度十日町市市民プール代替施設利用について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

庭野スポーツ振興課長

- ・資料に基づき説明

渡邊委員

- ・市民プールの運営は、今後廃止も含め検討していくということか。

庭野スポーツ推進課長

- ・廃止という選択肢も含め検討していきたい。

浅田委員

- ・現在、中学校ではプール授業は実施されているのか。市内にはプール授業がある高校もあり、中学でプール授業がないと苦労する子が出てくると思う。

細木学校教育課長

- ・中学校の学習指導要領での水泳の取扱いに関しては、施設の状況や地域性等である意味選択という形になっている。必修という時期もあったが、必ずしなけいけいけないということではなくなったので、実施しない中学校もある。

川崎委員

- ・夏休み中のプール開放が行われない学校は代替施設利用とのことだが、現段階夏休みのプール開放を行う予定のない学校はどの程度あるか。

庭野スポーツ振興課長

- ・川治小学校、西小学校、馬場小学校、水沢小学校の以上4校である。

(以上の質疑のあと了承した)

⑥ 報告第5号 令和5年市議会第2回定例会提出補正予算の追加について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

庭野スポーツ振興課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑なく了承した)

(4) 議決事項

① 議案第1号 十日町市スポーツ合宿物価高騰等対策支援金交付要綱の制定について

渡辺教育長

- ・議案第1号を上程し、事務局の説明を求めた。

庭野スポーツ振興課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・2点あるが、まず1点目は支援金の額となる4%だが、今後さらに物価の変動があることも考えられるので、ここで4%と決めてしまうというのはいかがなものか。例えば、今後さらに物価の変動があった場合は、この4%も変動することがあるなど、何かそんなことがあったほうがいいのではないか。

それと、別紙1の誓約書だが、この支援金の内容で、ここまで厳格な審査が必要なのか違和感がある。もっと様式等を簡単にしてもよいのではないか。

庭野スポーツ振興課長

- ・本事業については、国の臨時交付金を活用して実施するものである。臨時交付金を活用するにあたり、県と調整しながら要綱を作成したもので、基本的には4%で交付したいと考えている。誓約書についても、県から指摘を受けて付けるものであり、臨時交付金を活用する以上、細かくしっかりやっていく必要がある。

浅田委員

- ・対象期間が来年の1月31日とあるが、この期間はどのように決められたか。

庭野スポーツ振興課長

- ・当市のスポーツ合宿の傾向が7月、8月の夏場のシーズンと、あと冬場の吉田クロカンの各種大会に関わる事前練習合宿などの2つ大きなピークがあり、最終的にはウィンタースポーツであるクロスカントリー合宿まで含めた中で1月31日までという期間にした。

浅田委員

- ・毎年2月に吉田クロカンコースで、全国から選手が集まる大会があるが、そこまで延ばせないのか。

鈴木教育文化部長

- ・臨時交付金を活用する事務上の手続きの都合上、1月末までとせざるを得なかった。

川崎委員

- ・十日町市において、スポーツ合宿の実態というのはどんなものか。冬はクロカン合宿という話があったが、7月、8月はどんな合宿があるのか。

庭野スポーツ振興課長

- ・7月、8月は陸上競技場において、中高、大学の皆さんの陸上競技、あと中里アリーナ、十日町総合体育館においてはバスケットボール等の合宿がある。以前は野球場も大学のサークル等でご利用いただいたが、コロナで止まったところもあり、今主立った競技と施設は以上のとおりである。

(以上の質疑のあと決定した)

5 その他

- ① 令和5年度新潟県市町村教育委員会連合会定期総会及び研修会について
 - ・資料に基づき説明。
- ② 7月の主な行事予定について
 - ・資料に基づき説明
- ③ 次回定例教育委員会の開催日時
 - ・7月定例会 7月27日(木) 9時30分から開催することを決定した。

以上で、11時05分に渡辺教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記